



# 寄港地情報



## ダブリン (Dublin) / アイルランド共和国

※船内テレビ10CH「寄港地紹介」も合わせてご覧ください。(5月13日~15日放映)

入港日時: 5月15日(火) 09:30

出港日時: 5月15日(火) 21:00

着岸岸壁: オーシャンピア バース 30  
(Ocean Pier Berth 30)

最終帰船時刻: 5月15日(火) 20:00

シャトルバス: 市内中心部(バスウェルズホテル)まで運行します。

飛鳥デスク: シャトルバス先(バスウェルズホテル内)に設置します。

### ■ 緊急連絡先 ■

「飛鳥II」 : ①Tel: 00-81-80-1121-6937 (携帯電話/寄港中のみ)

②Tel: 00-870-7649-16750 / 16755

担当 : 豊田 Tel: 00-81-80-3529-3022 (携帯電話/日本語可)

在アイルランド日本国大使館 : Tel: 010-353-(0)1-202-8300

※海外で利用可能な自動ローミングされる日本の携帯電話から掛ける場合、(0)からダイヤルしてください。

日本の携帯電話からかける場合は「00」の代わりに「+」を押して発信する場合があります。

<日本へ電話をかける場合>

00 (国際電話識別番号) - 81 (日本の国番号) - (0を除いた市外局番) - (相手先の電話番号)

### 寄港する港の特徴

**港周辺** ダブリンは国民の約3分の1が暮らすアイルランド最大の都市ですが、ヨーロッパのほかの大都市とは違い落ち着いた趣のある街並みが特徴的です。一歩郊外に出るとイギリスとはまた一味違った田園風景が続き、異色の伝統文化を感じさせるモニュメントがあちこちに残っています。ダブリンの町には東西にリフィー川が流れ、北側にはメインストリートのオコンネル通りを中心にジョージア朝建築が建ち、南側にはダブリン城や聖パトリック大聖堂、トリニティ・カレッジといった観光スポットに加えて繁華街のテンプルバーやグラフトン通りがあります。

### 気候と服装

**気候情報** 予想最高気温: 17℃ 予想最低気温: 6℃。

**服装のアドバイス** 朝晩や日中でも日が翳ったときには寒く感じます。上に羽織るものをお持ちいただくことをおすすめします。急な雨に備えて折りたたみ傘などもご用意いただくとうよいでしょう。

### 時差

**日本との時差** 日本標準時より8時間遅れています。(ダブリンの正午は、日本時間の午後8時)

※ダブリンではサマータイムが導入されています

### 治安

**外務省海外安全情報** 現在、ダブリンには危険情報は発出されていません。

**治安情報** 比較的良い国ですが油断は禁物です。貴重品はお客様ご自身にて十分に管理してください。

**外出時の注意** 外出時には緊急時に備え、緊急連絡先を記載した書類と携帯電話などを必ずお持ちください。

### 通貨と両替

**現地通貨** ユーロ(€) 補助通貨はユーロセント(¢)

**日本円との換算額** 1€=100¢=約136円 (2018年5月現在)

**両替情報** アメリカドル、日本円は基本的に利用できませんので事前に船内でユーロへの両替をお勧めします。

※5デッキ・レセプションにて100ユーロパックの販売を行っております。

※船内では日本円への再両替はできません。

**ダブリンは、2018年 世界一周クルーズ中「ユーロ」の使用可能な最後の寄港地です。**



## チップ

**習慣の有無** アイルランドでは、チップを渡す習慣があります。

**金額の目安** レストランでサービスチャージが加算されていない時には、10～15%程度をチップとしてください。  
タクシーはメーター金額に10%程のチップを加えてお支払いください。

## タクシー

**港のタクシーの有無** 港周辺にタクシーが待機していますが、台数は少ないです。

**「飛鳥Ⅱ」～市街地間の目安** ギネス・ストアハウス（距離：約7km、所要時間：約30分、料金目安：約15ユーロ）

**市街地からの利用**：流しのタクシーは基本的にありません。所定のタクシー乗り場からお乗りください。

乗り場は大きな広場や駅などにあります。

**料金制度** メーター制です。

## 飲料水

**現地の水の安全性** ミネラルウォーターをお勧めします。お部屋のお飲み物をお持ちください。

※ミネラルウォーターにはガス入り(Fizzy, SparklingまたはCarbonatedという表記)とガスなし(StillまたはNaturalという表記)があります。

## トイレ事情

**市街地での利用** ホテルやレストラン、カフェ等での利用をお勧めします。

またチップ制のトイレも多く、大体1回50セント～1ユーロです。

カフェなどのトイレは何か注文すれば無料で借りられます。

## お買い物

**一般商店営業時間の目安** 10：00～18：00頃（店舗により異なります）

**港周辺のお店** 港周辺にお店はありません。

**お土産一例** お土産はシャトルバス発着場所付近のNassau St.（ナッソーストリート）や、Grafton St.（グラフトンストリート）でお求めいただけます。

### ● アラン・セーター

アラン諸島で伝統的に作られてきた漁師用の手編みのずっしりとしたセーターです。

### ● クリスタル・ガラス

ウォーターフォード・クリスタルと呼ばれる細かい幾何学模様のカット・ガラスです。

そのほか、クラダー・リングという伝統的な指輪やケルトの文様を施したアクセサリー、アイルランドのシンボルカラーの緑やシャムロックをあしらった小物などがお土産になります。

**免税手続きに関して** アイルランドでは、外国人観光客がお買いものをした場合免税の対象となります。（アイルランドでは何ユーロ以上お買い上げの場合という規定額の設定はありません）購入されたお店で免税手続きをしていただき、書類を受け取って商品（未使用であることが条件）と一緒に保管してください。

ダブリンの寄港日（5月15日）に、税金還付の手続きを船内で実施する予定です。詳細に関しては別途お届けします、『税金還付手続きに関するご案内（ダブリン）』をご確認ください。

## その他

### ショッピング上のご注意

◆ワシントン条約（絶滅の危機に瀕している野生動植物の国際取引に関する条約）で規制されている動植物およびその加工品は、条約で定められた許可書が無い限り日本への持ち込みはできません。

（規制代表例：象牙・トラなどの毛皮や敷物、ジャコウシカ・クマなどを含有する漢方薬など）

◆医薬品や化粧品は数量制限があります。（内服薬2ヶ月分以内、外用薬・化粧品は24個以内など）

◆偽ブランド商品・コピー商品などは、日本への持ち込みが禁止されています。

◆輸出証明がある場合でも、ビーフジャーキーなどの肉類・加工品は日本への持ち込みはできませんのでご注意ください。

◆植物類（生鮮野菜や果実、米）は日本帰国時に植物検疫の対象となり、持ち込めない物もあります。

◆日本帰国時の免税範囲や規制品の詳細は、5デッキ・レセプションにパンフレットをご用意しています。



# ダブリン シャトルバスのご案内

## 5月15日(火)

「飛鳥Ⅱ」 ⇄ 市内中心部 (バズウェル ホテル)

下記のスケジュールにてシャトルバス(無料)を運行致します。

出発場所	「飛鳥Ⅱ」 発 ASUKAⅡ	バズウェル ホテル 発 BUSWELLS HOTEL
出発時刻  (所要：約20分) 〈定時運行〉	<b>10:30</b>	<b>12:00</b>
	<b>11:30</b>	<b>14:00</b>
	<b>13:30</b>	<b>15:00</b>
	<b>14:30</b>	<b>16:00</b>
	—	<b>17:00(最終)</b>

- ※ 上陸の際は、乗船証(お部屋の鍵)、パスポートコピーを必ずお持ちください。
- ※ 「飛鳥Ⅱ」ののぼり、並びに「飛鳥Ⅱシャトルバス」のステッカーを目印にご乗車ください。
- ※ バスの配車・乗車は現地事情により出発時刻の間際となります。
- ※ 道路事情などにより、予定通りの運行ができない場合もあります
- ※ 満席の場合は、恐れ入りますが次のバスかタクシーをご利用ください。
- ※ 乗車の際、お部屋の鍵をご提示いただきます。

### 【周辺のご案内】

飛鳥デスクのあるバズウェル ホテル (BUSWELLS HOTEL) はダブリンの中心地近くに位置し、トリニティカレッジや博物館・美術館、また商店の並ぶナッソーストリート(Nassau St.)やグラフトンストリート(Grafton St.)も徒歩圏内にあり、観光やショッピングに便利です。

【飛鳥デスク】 現地事情に詳しい係員がおお客様のご質問にお答えします。

場所：シャトルバス発着所 (バズウェル ホテル)    オープン時間：10:45~12:30/13:30~17:00

【タクシーでお帰りの場合は…】

タクシーで「飛鳥Ⅱ」へお戻りの際には、下記英語を運転手にお見せください。

Please take me to "Ocean Pier Berth 30".

(私をオーシャンピア バース 30まで連れて行ってください)

※ダブリンは、2018年 世界一周クルーズ中『ユーロ』が使用可能な最後の寄港地です。

また、ダブリン寄港中の(5月15日)、16:30頃~20:00頃に、5デッキ・アスカプラザ 特設カウンターにて、EU諸国にて購入された商品の税金還付手続きを実施いたします。

詳細は別途お届けしております、税金還付手続きに関するご案内(ダブリン)をご確認ください。

### ■ 緊急連絡先 ■

外出の際は携帯電話と共にこの緊急連絡先を必ずご持参ください。

※国際電話のかけ方は「寄港地情報」にてご確認ください。

「飛鳥Ⅱ」着岸岸壁：オーシャンピア バース30 (OCEAN PIER BERTH 30)

最終帰船時刻：20:00

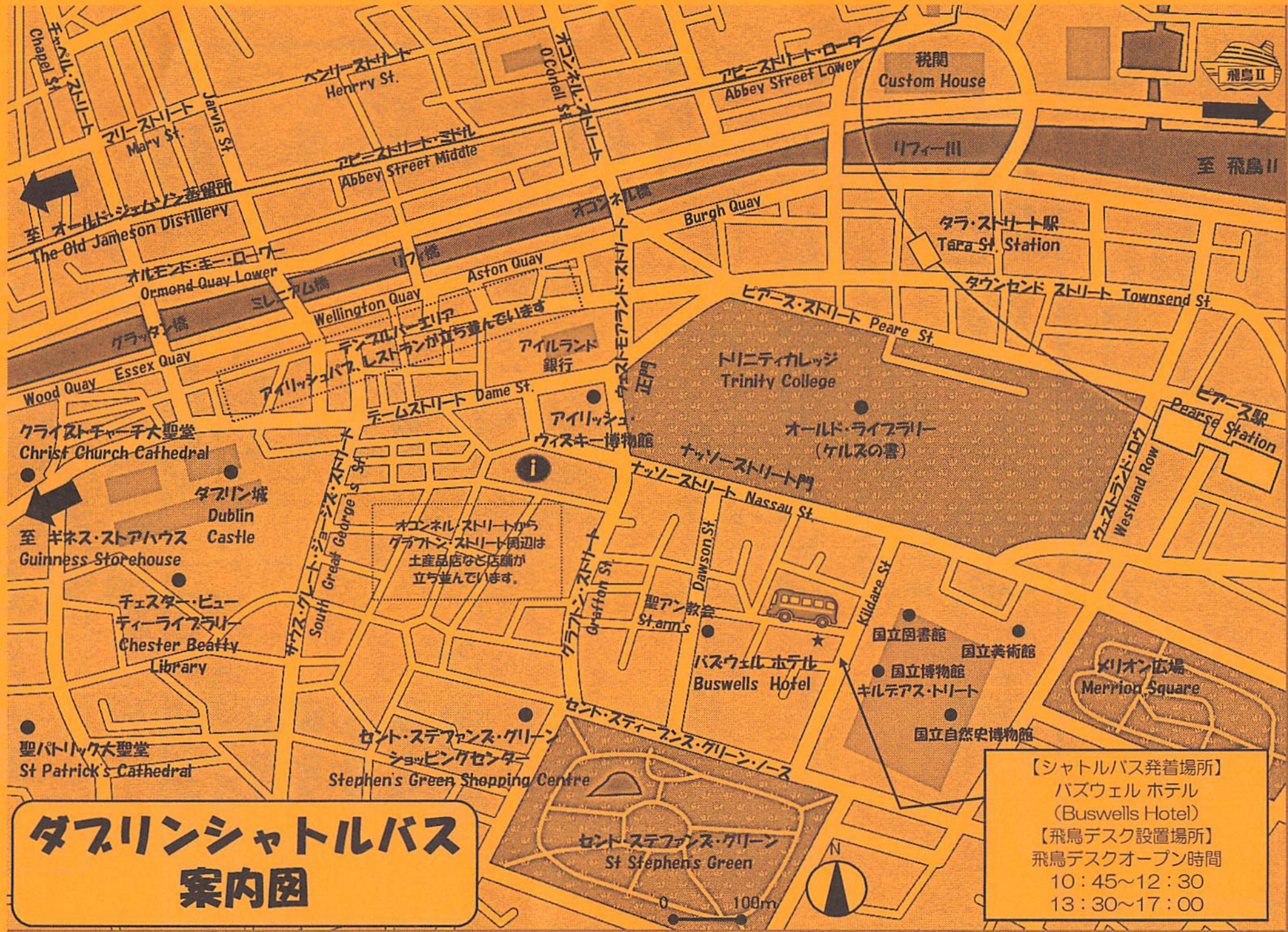
「飛鳥Ⅱ」：①Tel: 00-81-80-1121-6937 (携帯電話/寄港中のみ)

②Tel: 00-870-7649-16750 / 16755

現地手配旅行会社：ミキトラベル (MIKI TRAVEL)

担当：豊田 Tel: 00-81-80-3529-3022 (携帯電話/日本語可)





# ダブリンシャトルバス案内図

【シャトルバス発着場所】  
 バズウェル ホテル  
 (Buswells Hotel)  
 【飛鳥デスク設置場所】  
 飛鳥デスクオープン時間  
 10:45~12:30  
 13:30~17:00

オConnellストリートから  
 グラフトンストリート周辺は  
 土産品店など店舗が  
 立ち並んでいます。

至 オールド・ジェームズ蒸留所  
 The Old Jameson Distillery

クライストチャーチ大聖堂  
 Christ Church Cathedral

至 キネス・ストアハウス  
 Guinness Storehouse

チェスター・ビュー  
 ティーライブラリー  
 Chester Beatty Library

聖パトリック大聖堂  
 St Patrick's Cathedral

セント・ステファンス・グリーン  
 ショッピングセンター  
 Stephen's Green Shopping Centre

セント・ステファンス・グリーン  
 St Stephens Green

トリニティカレッジ  
 Trinity College

オールド・ライブラリー  
 (ケルズの書)

バズウェルホテル  
 Buswells Hotel

国立図書館  
 国立美術館  
 国立博物館  
 キルデアストリート  
 国立自然史博物館

メリオン広場  
 Merrion Square

税関  
 Custom House

タラ・ストリート駅  
 Tara St. Station

至 飛鳥II

ピアース駅  
 Pearse Station

0 100m

